

地域子ども・子育て支援事業の対応方針（案）

●地域子ども・子育て支援事業

	提供区域
1. 利用者支援（新規）	全市1区
2. 地域子育て支援拠点事業	中学校区
3. 妊婦健康診査	全市1区
4. 乳児家庭全戸訪問事業	全市1区
5. 養育支援訪問事業等	全市1区
6. 子育て短期支援事業	全市1区
7. ファミリー・サポート・センター事業	全市1区
8. 一時預かり事業	全市1区
9. 延長保育事業	中学校区
10. 病児・病後児保育事業	全市1区
11. 放課後児童クラブ	小学校区
12. 実費徴収に係る補足給付を行う事業（新規）	全市1区
13. 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業（新規）	全市1区

●確保方策の検討にあたり留意すべきポイント

基本理念に基づく「めざすまちの姿」を達成できるよう、行動目標・施策の方向に沿った適切な確保方策を検討していく。

地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保については、事業の性質や実施状況を踏まえ、「量の見込み」の算出に基づき、適切な確保方策を検討していく。

確保方策が、妊娠期からの切れ目ない支援となるよう、連携した体制づくりを合わせて検討していく。

< 論 点 >

前回の部会（提供体制の確保の内容及び実施時期、部会で抽出された課題に対する対応方針の検討）を踏まえ、

「子ども・子育て支援事業計画（素案）」への記載について、どう考えるか。

1. 利用者支援（新規）

本市の実情に沿った事業形態を検討し、地域で必要な社会資源の開発に努めます。また、「官庁街にぎわいまちづくり活性化計画」との調整を図り、官庁街エリアに、子ども・子育て支援の総合的な情報提供並びにサービス調整、関係機関の連携等の役割を担うワンストップ型総合窓口の設置をめざします。

このような場において利用者支援事業の実績（活動事例）を積み上げたのち、今後のあり方について検討していきます。

（単位：カ所）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	－	－	－	－	－
②確保の内容	1 カ所	1 カ所	1 カ所	2 カ所	2 カ所

2. 地域子育て支援拠点事業

提供区域（中学校区）内にて提供体制が確保されるよう、現在の子育て支援拠点を充実させるとともに、新たな子育て支援拠点の創出をめざします。「官庁街にぎわいまちづくり活性化計画」との調整を図り、官庁街エリアにおいて、本市の子ども・子育て支援の中心的な役割を担う子育て支援拠点の創出をめざします。

なお、全ての子ども・子育て家庭への支援となるためには、日常生活の動線上に子育て支援の拠点があることが非常に重要となることを踏まえ、地域社会の中で多様な支援の場、機会が創出されるよう努めていきます。

（新規取組）・地域における子育て支援拠点づくり

- ・商店街や大型ショッピングストアの空き店舗・空き家の活用
- ・ホームスタート（ボランティアによる家庭訪問型子育て支援）の実施

●全市域での確保方策

(単位：人回)

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	15,309	15,285	15,245	14,924	14,603
実施箇所	子どもセンター(3カ所)、 地域子育て支援センター『クレヨン』、安土子育て支援センター、 つどいの広場ほんわかの家、つどいの広場あいあいの家 計7カ所 ※H26.4月～「つどいの広場ほんわかの家 金田」が開所				
利用実績(H25)	20,212				
②確保の内容	8カ所	8カ所	8カ所	9カ所	9カ所

●中学校区での確保方策

八幡中学校区	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	4,613	4,606	4,594	4,497	4,400
利用実績(H25)	校区民利用延べ人数＞ 3,303+★ 校区内施設の利用延べ人数(八幡子どもセンター+ほんわかの家・八幡)＞ 6,597				
②確保の内容	2カ所	2カ所	2カ所	3カ所	3カ所

八幡東中学校区	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	3,894	3,888	3,878	3,797	3,715
利用実績(H25)	校区民利用延べ人数＞ 3,186+★ 校区内施設(八幡東子どもセンター)の利用延べ人数＞ 1,985 ※「ほんわかの家 金田」が、H26.4月～開所				
②確保の内容	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所

八幡西中学校区	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	5,169	5,160	5,147	5,038	4,930
利用実績(H25)	校区民利用延べ人数＞ 4,939+★ 校区内施設(八幡西子どもセンター+クレヨン)の利用延べ人数 > 6,895				
②確保の内容	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所

安土中学校区	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	1,633	1,631	1,626	1,592	1,558
利用実績 (H25)	校区民利用延べ人数 > 1,191+★ 校区内施設(安土子育て支援センター+あいあいの家)の利用延べ人数 > 4,735				
②確保の内容	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所

※あいあいの家については、学区別集計が不明なので★印で表示し、1,066人（H25年度延べ利用数）を全市利用実績値に含めた。

※地域子育て支援センター『クレヨン』、安土子育て支援センター、ほんわかの家については、延べ利用組数の学区別集計が不明。全市利用実績値には延べ利用者数を算入、校区別実績値には利用実組数等を算入した。

地域子育て支援センター『クレヨン』	実利用組数 1,099 組	延べ利用組数 2,248 組
安土子育て支援センター	実利用組数 1,281 組	延べ利用組数 3,669 組
ほんわかの家	会員登録数 221 組	延べ利用組数 3,178 組

計画全体への反映すべき対応方針

●関係機関との連携

妊娠期からの切れ目ない支援、乳児期の相談等によるきめ細やかな支援を行うため、関係機関（産婦人科医院等）との連携強化を図ります。

●地域で支えあうネットワークづくり

行政、地域社会、企業など社会全体で子どもの育ちと子育てを支援していくため、行政機関を始め、地域の連携強化を図るネットワークの構築をめざします。また、地域における子育て支援を支える支援担当者、ボランティア（子育てサポーター）の活動促進を図ります。ボランティアを発掘する養成講座や、スキルアップを目指した養成講座の取り組みを強化します。

（新規取組）・各種ボランティアのネットワーク化（登録バンク制度）の実施
 ・有償ボランティアの検討、ボランティア保険の充実

●「親育ち」を支援

子育ての第一義的責任は保護者であることを踏まえ、子育てを通じて親として成長し、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合えるよう支援していきます。

（新規取組）・給食センターにおける食育教室の実施

3. 妊婦健康診査

標準的な健診回数（１４回）の公費負担を継続しつつ、県下の状況を踏まえ、さらなる経済的負担の軽減を図ります。

（単位：人）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
①量の見込み	11,872	11,620	11,284	11,116	10,780
	人口推計×14回(全健診回数)の延べ数				
実績（H25）	9,844（受診率 84.4%）				
②確保の内容	11,872	11,620	11,284	11,116	10,780

計画全体への反映すべき対応方針

●関係機関との連携

妊娠期からの切れ目ない支援、乳児期の相談等によるきめ細やかな支援を行うため、関係機関（産婦人科医院等）との連携強化を図ります。

（新規取組）・母子手帳の受渡業務の検討

4. 乳児家庭全戸訪問事業

全戸訪問を達成できるよう、今後も訪問連絡を積極的に実施するとともに、訪問員の体制強化を図ります。また、産後直後の不安を和らげるため、生後2カ月以内に訪問することをめざします。

訪問時以外でも相談ができるよう相談窓口として、保健センターや子育て支援機関の周知を図るとともに、支援が必要な保護者に対しては関係機関や地域が連携して支えていきます。

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	848	830	806	794	770
	人口推計に基づき算出				
実績（H25）	対象者：810人 訪問件数 726人（訪問率 89.6%） └─ うち、生後2カ月以内訪問 501人 （対訪問全数の 69.0%）				
②確保の内容	848	830	806	794	770
	※独自目標：生後2カ月以内訪問				

5. 養育支援訪問その他要支援児童、要保護児童等の支援に資する事業

児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、また、児童虐待ケースの場合については遅延なく対応できるよう、関係機関が十分に連携し、細かな連絡調整を速やかに実施できる体制づくり、取り組み強化を図ります。

A 養育支援訪問事業等

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	10	10	10	10	10
	過去の実績から見た平均数				
実績（H25）	10				
②確保の内容	助産師による訪問支援				

B 近江八幡市要保護児童対策地域協議会

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	309	318	327	336	345
	児童虐待件数 過去（H21～24）4年間の増加率で計算				
実績（H25）	312				
②確保の内容	相談体制の強化				

C 育児家庭訪問事業

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	5	5	5	5	5
	過去の実績に基づき算出				
実績（H25）	1				
②確保の内容	委託事業による訪問支援				

D 子ども家庭相談室事業

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	601	636	671	706	741
	家庭児童相談件数 過去（H21～24）4年間の増加率で計算				
実績（H25）	513 ※室職員数は6人				
②確保の内容	相談体制の強化				

6. 子育て短期支援事業（ショートステイ）

利用希望の動向を注視しつつ、担い手となる実施主体の検討を含め、事業実施に向けて検討します。

（単位：人日）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1,560	1,577	1,590	1,602	1,585
実施箇所	0カ所				
②確保の内容	0カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所

7. ファミリー・サポート・センター事業

認知度に比べ、利用率が低いことを踏まえ、利用促進を図る広報に取り組むとともに、利用料の負担軽減について検討します。

（単位：人日）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	1,500	1,500	1,550	1,550	1,550
	過去の実績より算出				
利用会員登録者数	1,121	1,222	1,331	1,450	1,580
協力会員登録者数	473	501	531	563	597
実施箇所（H25）	NPO 法人子育てサポートおうみはちまんすくすく 1カ所 （H25年度 活動件数 1,495）				
②確保の内容	1,500 （1カ所）	1,500 （1カ所）	1,550 （1カ所）	1,550 （1カ所）	1,550 （1カ所）

8. 一時預かり事業

●幼稚園での預かり保育

公立幼稚園の場合、通園区域の弾力化はあるものの、利用できる幼稚園は限られているため、預かり保育の目的や役割、利用時間帯、利用料金なども含め、今後のあり方について検討します。

(単位：人日)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み		10,367	10,614	10,818	11,226	11,226
現在の公立幼稚園 預かり保育の実施状況	通年預かり保育の利用者数 (A)	H25 利用者数 島：21名＋馬淵：30名＋沖島：3名 ＝計54名 ※H26～老蘇開始(30名定員、申込者27名)				
	日数(B)	H25実績：185日				
	A×B	H25：54×185＝9,990 H26：(54+27)×185＝14,985 (4カ所)				
私立幼稚園での実施状況		近江兄弟社幼稚園・預かり保育『ノアの家』				
②確保の内容 (在園児対象型)		5カ所	5カ所	5カ所	5カ所	5カ所

●幼稚園以外での預かり保育

現在の場が充実できるようにスタッフの確保について検討するとともに、官庁街エリアの新たな子育て支援拠点において新規に実施できるよう取り組みます。

(単位：人日)

		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み		5,750	5,808	5,852	5,892	5,827
現在の 一時預かりの 実施状況	一時預かり事業 (在園児対象型除く)	●つどいの広場『あいあい』 (H25実績) 活動実績…19件				
	子育て援助活動 支援事業	●NPO 法人子育てサポートおうみはちまんすくすく (病児・緊急対応強化事業、就学児除く) (H25実績) 活動実績…543件				
②確保の内容		2カ所	2カ所	2カ所	3カ所	3カ所

※認可外保育施設(2カ所)でも、一時保育が実施、利用されている実績があります。

9. 延長保育事業

現在の実施状況を継続するとともに、仕事と子育てに関する両輪の施策として、ワークライフバランスの推進について取り組みを強化します。

(単位：人)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	983	993	1,001	1,009	998
現在の利用状況	28,137名 (H25 延べ人数)				
実施箇所数 (H25)	14園 (全ての認可保育所・認定こども園)				
②確保の内容	14園	14園	14園	14園	14園

10. 病児・病後児保育事業

定員増に向けて財源の確保や手法について検討するとともに、仕事と子育てに関する両輪の施策として、ワークライフバランスの推進について取り組みを強化します。

(単位：人日)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
①量の見込み	788	801	807	808	804
現在の利用状況	●西川小児科医院 1カ所 ※認可保育施設利用者のみ (H25実績) 開所日数…268日 (A) 1日の定員…2名 (B) $A \times B = 536$				
	●NPO 法人子育てサポートおうみはちまんすくすく ファミリー・サポート・センター (病児・緊急対応強化事業) (H25実績) 活動実績…39件				
②確保の内容	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所	2カ所

11. 放課後児童クラブ

利用者の増加が見込まれる小学校区において、増設を検討していきます。また、小学校や幼稚園の教室を活用しているものについて、子どもたちの安全および衛生を確保するため、義務教育施設等の建設と一体的な整備を推進していきます。

注1) 確保の人数については、1クラブ最大50人とし、生活スペース÷1.65(㎡)として算出しています。

注2) クラブの所在地により、「力所数」を記載しています。

注3) 「さくら」や「おかえり」は小学校区をまたいでの受け入れを行っています。

注4) 前回までの見込み量から数値を修正したところは色網掛けをしています。

〔八幡〕 現在の確保内容 155人(八幡げんき 50、のぞみ 69、さくら 36)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み (低学年)	106人	107人	106人	108人	110人
量の見込み (高学年)	43人	43人	45人	46人	46人
①量の見込み	149人(4力所)	150人(4力所)	151人(4力所)	154人(4力所)	156人(5力所)
②確保の内容	155人(4力所)	155人(4力所)	155人(4力所)	155人(4力所)	155人(4力所)
③ ②-①	6人(0力所)	5人(0力所)	4人(0力所)	1人(0力所)	-1人(-1力所)

〔島〕 現在の確保内容 40人(島の子)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み (低学年)	13人	14人	13人	12人	12人
量の見込み (高学年)	5人	4人	5人	5人	6人
①量の見込み	18人(1力所)	18人(1力所)	18人(1力所)	17人(1力所)	18人(1力所)
②確保の内容	40人(1力所)	40人(1力所)	40人(1力所)	40人(1力所)	40人(1力所)
③ ②-①	22人(0力所)	22人(0力所)	22人(0力所)	23人(0力所)	22人(0力所)

〔沖島〕 現在の確保内容 0人

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み (低学年)	2人	2人	2人	2人	2人
量の見込み (高学年)	1人	1人	1人	1人	1人
①量の見込み	3人(1力所)	3人(1力所)	3人(1力所)	3人(1力所)	3人(1力所)
②確保の内容	0人(0力所)	0人(0力所)	0人(0力所)	0人(0力所)	0人(0力所)
③ ②-①	-3人(-1力所)	-3人(-1力所)	-3人(-1力所)	-3人(-1力所)	-3人(-1力所)

〔岡山〕 現在の確保内容 40 人（寺子屋水茎）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	44 人	50 人	56 人	60 人	62 人
量の見込み （高学年）	14 人	15 人	16 人	19 人	21 人
①量の見込み	58 人(2 力所)	65 人(2 力所)	72 人(2 力所)	79 人(2 力所)	93 人(3 力所)
②確保の内容	40 人(1 力所)	40 人(1 力所)	80 人(2 力所)	80 人(2 力所)	80 人(2 力所)
③ ②－①	-18 人(-1 力所)	-25 人(-1 力所)	8 人(0 力所)	1 人(0 力所)	-13 人(-1 力所)

〔金田〕 現在の確保内容 165 人（金田第 1・第 2 つちのこ 100、まあむ第 1・第 2 65）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	132 人	135 人	134 人	136 人	137 人
量の見込み （高学年）	57 人	58 人	60 人	61 人	62 人
①量の見込み	189 人(5 力所)	193 人(5 力所)	194 人(5 力所)	197 人(5 力所)	199 人(5 力所)
②確保の内容	165 人(4 力所)	165 人(4 力所)	205 人(5 力所)	205 人(5 力所)	205 人(5 力所)
③ ②－①	-24 人(-1 力所)	-28 人(-1 力所)	11 人(0 力所)	12 人(0 力所)	6 人(0 力所)

〔桐原〕 現在の確保内容 113 人（桐っ子・パロウニア 76→100、おかえり 37）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	71 人	71 人	71 人	72 人	73 人
量の見込み （高学年）	30 人	31 人	32 人	32 人	33 人
①量の見込み	101 人(3 力所)	102 人(3 力所)	103 人(3 力所)	104 人(3 力所)	106 人(3 力所)
②確保の内容	113 人(3 力所)	137 人(3 力所)	137 人(3 力所)	137 人(3 力所)	137 人(3 力所)
③ ②－①	12 人(0 力所)	35 人(0 力所)	34 人(0 力所)	33 人(0 力所)	31 人(0 力所)

〔桐原東〕 現在の確保内容 44 人（風の子）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	57 人	55 人	48 人	44 人	46 人
量の見込み （高学年）	20 人	18 人	21 人	20 人	20 人
①量の見込み	77 人(2 か所)	73 人(2 か所)	69 人(2 か所)	64 人(2 か所)	66 人(2 か所)
②確保の内容	44 人(1 力所)	44 人(1 力所)	44 人(1 力所)	44 人(1 力所)	44 人(1 力所)
③ ②－①	-33 人(-1 か所)	-29 人(-1 か所)	-25 人(-1 か所)	-20 人(-1 か所)	-22 人(-1 か所)

〔馬淵〕 現在の確保内容 38 人（馬っ子）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	23 人	22 人	20 人	16 人	14 人
量の見込み （高学年）	9 人	10 人	11 人	12 人	11 人
①量の見込み	32 人(1 力所)	32 人(1 力所)	31 人(1 力所)	28 人(1 力所)	25 人(1 力所)
②確保の内容	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)
③ ②－①	6 人(0 力所)	6 人(0 力所)	7 人(0 力所)	10 人(0 力所)	13 人(0 力所)

〔北里〕 現在の確保内容 50 人（北里スマイリー）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	37 人	39 人	40 人	40 人	42 人
量の見込み （高学年）	9 人	9 人	9 人	9 人	9 人
①量の見込み	46 人(1 力所)	48 人(1 力所)	49 人(1 力所)	49 人(1 力所)	51 人(2 力所)
②確保の内容	50 人(1 力所)	50 人(1 力所)	50 人(1 力所)	50 人(1 力所)	50 人(1 力所)
③ ②－①	4 人(0 力所)	2 人(0 力所)	1 人(0 力所)	1 人(0 力所)	-1 人(-1 力所)

〔武佐〕 現在の確保内容 38 人（武佐さんちるどれん）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	15 人	15 人	15 人	15 人	15 人
量の見込み （高学年）	6 人	6 人	7 人	7 人	7 人
①量の見込み	21 人(1 力所)	21 人(1 力所)	22 人(1 力所)	22 人(1 力所)	22 人(1 力所)
②確保の内容	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)	38 人(1 力所)
③ ②－①	17 人(0 力所)	17 人(0 力所)	16 人(0 力所)	16 人(0 力所)	16 人(0 力所)

〔安土〕 現在の確保内容 83 人（安土ひまわり）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	62 人	67 人	73 人	74 人	73 人
量の見込み （高学年）	32 人	32 人	32 人	34 人	38 人
①量の見込み	94 人(3 力所)	99 人(3 力所)	105 人(3 力所)	108 人(3 力所)	111 人(3 力所)
②確保の内容	83 人(2 力所)	83 人(2 力所)	83 人(2 力所)	83 人(2 力所)	123 人(3 力所)
③ ②－①	-11 人(-1 力所)	-16 人(-1 力所)	-22 人(-1 力所)	-25 人(-1 力所)	12 人(0 力所)

〔老蘇〕 現在の確保内容 38 人（老蘇スマイル）

	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
量の見込み （低学年）	16 人	14 人	13 人	12 人	13 人
量の見込み （高学年）	7 人	7 人	7 人	8 人	7 人
①量の見込み	23 人(1 カ所)	21 人(1 カ所)	20 人(1 カ所)	20 人(1 カ所)	20 人(1 カ所)
②確保の内容	38 人(1 カ所)	38 人(1 カ所)	38 人(1 カ所)	38 人(1 カ所)	38 人(1 カ所)
③ ②－①	15 人 (0 カ所)	17 人(0 カ所)	18 人(0 カ所)	18 人(1 カ所)	18 人 (0 カ所)

12. 実費徴収に係る補足給付を行う事業（新規）

（今後の国の審議状況を踏まえて検討）

13. 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業(新規)

（今後の国の審議状況を踏まえて検討）

※特別な支援が必要な子どもを受け入れる場合に、本事業が活用できる可能性がある。